

募集期間:令和8年8月17日(月)～9月16日(水)
提出者:26名
意見数:34件
※この外、意見提出要件不備が1件ありました。内容及び市の考えを参考として別資料にまとめています。

No	提出者	意見要旨	市の考え方
1	1	子どもたちの健全教育の部分について。保育園・幼稚園の待機児童数の改善も案に含めていただきたい。	現在のざま未来プラン基本構想では、施策3「保育」のまちづくり指標として、保育所の待機児童数0人を目標に設定し、入所定員の増加等を進めているところで、今後も同様に取り組んでまいります。
2	2	渋滞の解消、道路、歩道の整備、区画整理、踏切解消など	いただいた御意見は、施策24「道路」や施策22「市街地整備」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
3	3	バスの本数を増やして欲しいです。	いただいた御意見は、施策21「都市計画」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
4	4	子育て世代ですが、座間の中心部に施設が集中してしまい、小田急相模原駅よりに在住している人は図書館が遠く、使いづらいです。 また、小学校中学校も遠くそれならば相模原市大和市にしようかなあ…とってしまうと思います。 正直、座間市に越してきましたが、2歳児育児中で他市と比べて良いなあと思うことがありません。 出産に関してのチケットも座間に越したら半減してびっくりしました。	いただいた御意見は、政策1「共に学び、健やかに育つまちづくり」に関する具体的な取組の検討において参考させていただきます。
5	5	全国的に少子化が問題となっており不安もあるが、一方で子育てのための環境は良化していないように感じる。 小中学校の統廃合により通学時間/距離が長くなることや、公園がなくなることなど、いくらか矛盾した進め方とを感じる部分も多い。また、他の自治体の情報も含めると、給食無償化による質低下や中学の給食廃止、高校まで含めると芸術科目の専任教師配置を辞める事例もあると聞いており、少子化のみならず教育そのものへの投資を減る傾向があることに大きな不安を感じる。逆に高齢者や権力者への手当ては厚くなっているようにも思われるため、今後の日本の未来が心配である。 とはいえ、座間市は比較的財源に余裕があるためか、子供への投資がされていると感じられる部分も多く、地域と学校の繋がりも大切にされていると思います。 米軍基地があるためか、最近では基地とは関係のなさそうな日本語を喋れない方々も増えていることが感じられるため治安への不安は膨れますが、ぜひ引き続き子どもたちを含む未来のための施策を実施していただきたいです。 よろしく願います。	いただいた御意見は、政策1「共に学び、健やかに育つまちづくり」に関する具体的な取組の検討において参考させていただきます。
6	6	現在、自転車は原則として車道を通行することとされていますが、例外として歩道を通行できる条件については、一般の自転車利用者にとって分かりにくい部分が多いと感じています。 例えば、道路の幅や交通量、大型車の通行状況など、実際の道路環境によって歩道を通行できる場合がありますが、自転車でその道路を初めて通る際に、「この道路では車道を走るべきなのか、それとも歩道を通行してもよいのか」をその場で正確に判断することは難しいと思います。そのため、自転車利用者としては、車道を走っていても、歩道を走っていても、「本当にここを通行してよいのだろうか」という不安を感じることがあります。また、交通量が多い道路や大型車が頻繁に通行する道路では、安全面についても不安があります。 そこで、座間市内の道路について、自転車が通行すべき位置をより分かりやすくするため、可能な範囲で自転車通行位置を示す路面標示や案内表示を増やしていただきたいです。 それぞれの道路で「自転車はここを通行する」という位置が明確に示されていれば、初めて利用する道路でも迷うことがなく、自転車利用者だけでなく、歩行者や自動車の運転者にとっても、自転車がどこを通行するのか予測しやすくなると思います。結果として、自転車・歩行者・自動車それぞれの安全性向上にもつながると考えます。自転車を安心して利用できる道路環境づくりのため、ぜひ自転車通行位置の明確化についてご検討いただければ幸いです	自転車の交通安全に係る御意見として受け止めます。御意見の趣旨は、ざま未来プラン基本構想の施策8「安全・安心な生活環境の整備」や施策24「道路」に含まれているものと考えますが、具体的な取組の検討において参考させていただきます。
7	7	道の整備が進んでいない 物流センターが多いのに、道幅が狭く、歩道、自転車ゾーンが整備されていない 街路樹ではなく、歩道スペースに変えるべき	いただいた御意見は、施策24「道路」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
8	8	子供をこの街で産んで育てたいって思えるような街にしたい。出産した後に受け取るお金を上げる。新しい公園や遊び場所を作る。小中学の学区を住所で決めないで欲しい。他の市がやってる事を座間市がやらない理由が分からない。	いただいた御意見は、政策1「共に学び、健やかに育つまちづくり」及び分野横断的に取り組む「輝く未来戦略」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
9	9	道路が狭い。踏み切り事故対策がされない。(例えば高架)歩道の草刈りがされない。ロジスティックだけで工場等の誘致がされてない。(市民税の減額)よろしく願います。	いただいた御意見は、施策24「道路」と施策7「産業振興」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
10	10	座間市の中では特にひばりが丘地域に大きな倉庫が点在しているがこの地域は道幅も狭く場所に依ってはいいつも渋滞状態です。 工場や倉庫を誘致する折には地域住民の避難を含めた道路整備を大至急実施して頂きたい。	いただいた御意見は、施策24「道路」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
11	11	人口減について、現在座間に在住して出産育児しているが、座間の子供家族に対してはメリットが他の市のほうが大きい。出産の育児の市を選ぶとしたら、座間は選ばないのが現状。出産育児、居住区に選ばれる取り組みをするべきだと思う。 近隣の相模原、大和の方が妊娠出産の際の手当て的なのが大きい。育休になると学童をでないとならない。国としては育休中でも、市の学童に通える様になっているらしいが、各市町村に任せている結果、育休中の親子にとってはデメリットな座間市の考え。ゴミの持ち込み出来ない不便さ。市民プールの屋内がない。良いことがかんじられず、進めることも出来ない。なるべくして減少しているのを理解したほうがいい。 近隣と共同して同じ扱いで利用できるように取り組む施設等、学童など、子供のためにも通い続けれるようにする。保育園、学童利用を厚くする。人が増えても、入れるところがあれば意味が無い。 ご意見番が勘違いして送ってるかもしれないが、思ってることを送りたかったので送りました。	人口減少対策や市独自の取組に関する御提言として受け止めさせていただきます。

12	12	座間市は急速に発展しまして嬉しい限りです。 ですが気掛かりな事がひとつありまして、水害に対する対策です。 千葉水害を考えますと他人事ではありません。座間市も目久尻川流域、入谷東地区周辺、座間地区周辺等、少し気になるエリアがあります。 ハザードマップに出ている場所もありますが、もう少し細かく突き詰めた方が良いかなと思います。	水害については、洪水氾濫、内水氾濫、土砂災害が想定されており、対策には様々な行政分野が関わりますが、地域防災計画等に基づく具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
13	13	児童の学校生活の満足度向上も重要だが、不満足度を減らす(例えば、イジメをゼロにする等)ことも重要ではないか。	いただいた御意見は、施策4「義務教育」に関する具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
14	14	近隣の市に比べて、圧倒的に子供の屋内の遊び場が少ないので作って欲しい。 支援センターも古めかしく、魅力的に思わないのであまり利用したいと思わない。 子育て世代や子供に優しい制度や施設等があれば座間市で子育てしたいという人も増えないと思う。 隣接している市に比べて色々と遅れていると感じるので、改善の必要がある。	いただいた御意見は、政策1「共に学び、健やかに育つまちづくり」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
15	15	まず子どもたちが暮らすことに対して手厚いと思えるかどうかだと思います。 他の市に比べて子どもたちが安心して遊べる遊び場が座間市は少ないと感じます。 また学校に通わせる親からすると道路やガードレール等のインフラの不完全さは1つの不安材料と思っています。 総じて子育てをしたいと安心しては思えるインフラの整備が必要ではないでしょうか。	いただいた御意見は、政策1「共に学び、健やかに育つまちづくり」及び政策6「緑あふれる快適なまちづくり」に関する具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
16	16	座間市内の空き家が多くあるように感じるのでその対策を検討してほしい。空き家を活用した人口流入を促進すべき。特に戸建てならファミリー層の転入が見込める	いただいた御意見は、施策22「市街地整備」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
17	17	素案にはない内容になり申し訳ございません。ベット神社で有名な座間神社があり、節目毎に遠方からたくさんの方が来る印象です。せっかくならこの座間神社周辺に市が運営するドッグランや犬に優しい公園を作ると遠方から遊びに来たり、ましては引っ越して来る方も増えて、座間市が盛り上がるきっかけになるのではと考えます。	いただいた御意見は、施策23「公園緑政」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
18	18	座間市で老若男女の市民の意見を反映していただけるパブリックコメントの採用いただきありがとうございます。 私は座間市に限らずですが、少子高齢化に関して危機感を感じているので、座間市でも他人事と考えず、自分事として危機感を感じて対策、実行いただける方が増えていくと有難いと感じています。 諸々の価値観があるので難しいのですが、老若男女すべてにとって時代に合わせた前向きで人に優しく柔軟な対策を検討、実行していかなければならないとも感じています。 私は部活地域移行、学校再編計画等もパブリックコメントで提案させていただいてますが、私と同じ気持ちの方もいらっしゃるようで、いくつかは計画案に反映していただけているのでとても有難く嬉しく感じています。私が生きている間に実現できること願います。少子高齢化に関しては、私は子どもが3人(高校生1名、小学生2名(双子))いるのですが、子どもが小さい頃は主人の仕事が忙しく、私も働いていて共働きで自分の子どもを育てる事で精一杯で地域関連の協力することが最低限のことでもとても大変でした。 現在共働きの方がほとんどで社会問題にもなっているのでどの家庭も同じ悩みだと思います。 現在文部科学省推進のPTCA、地域学校協働本部(活動)は学校家庭地域にとって時代にあったとても良い仕組みだと思うので座間市でも早急にこちらの方向で進めていただきたいです。 現在私は子どもたちが成長してきたので、数年前から小学校コミスクボランティア、地域のボランティアなどをさせていただき少しずつですが、学校家庭地域それぞれに課題などがあることが分かってきました。 自分が座間にとってよいことになるのでは…と思うことはまだ全てではないですが、少しずつ提案させていただいてます。 あと、何でも支援をしてほしいといただくことばかり考えず、座間市の財政を豊かにするために市民も自分事と考えて色々な意見を座間市に提案していただきたいとも思っています。何事も財源がなければ支援ができないので。 ふるさと納税の品ですが、座間市は諸々素晴らしい品物があるのでもっと活用いただけると助かります。観光協会推奨品のお米、お肉加工品、和菓子、洋菓子、畳べり細工、お豆腐等。あと座間市の花がひまわりなのでひまわり焼酎がふるさと納税品になるといいな…と思っています。あと、ざまりんのネクタイや、ざまりん×キティちゃんコラボのタオルもとても可愛いです。キャラクターと色展開(シナモン水色、クロミ黒等)や、ざまりんと他のキャラクターコラボ(現代の日本文化のアニメ、ゲームキャラクター等)との展開も検討実現していただきたいです。ざまりんネクタイは市役所等自治体関係の方が着用いただいても可愛いし座間市のアピールにもなると思います。ひまわり、ざまりん等を活用したコラボ品が増えていくといいですね。あと、現在熊本震災支援でざまりん×くまモンコラボ商品で震災支援できるといいなと考えています。 あとは、神奈川県でおこなわれる花博と座間市とのコラボで何か協力できることはないかなとも考えてます。例えば、現在小学校給食でラッキー人参という人参を星形にかたどって汁物に入れる可愛い取り組みをしていただいています。これに花形の人参のラッキーフラワー(ハッピーフラワーでも可☺)を加えていただく…という可愛い取り組みがあってもいいかなと思います。人との関係性をよくするために何事も可愛く優しいユーモアは大切なことだと思います。花博はせっかく国際的な取り組みが神奈川県で行われるので、花博にとっても、座間市にとっても良いことになるwinwinな取り組みをしていただけると助かります。 今後も時代にあった人に優しく前向きな老若男女様々な意見を反映していただき、座間市にとって良い方向に進む取り組みの実現お願いいたします。私も自分で無理なくできる範囲で協力していこうと思います。	いただいた御意見は、市政全般に関する御提言として受け止めさせていただきます。
19	19	デジタル化推進においてオンライン手続数の拡大だけでなく、生成AI等を活用した市民サービス向上や業務効率化を施策として位置付けることを提案いたします。 行政資源が限られる中、持続可能で利便性の高い行政運営に繋がると考えます。	施策29「デジタル化推進」のまちづくり指標は、オンライン手続数を設定しているところですが、本施策では、生成AIの活用も進めているところです。 いただいた御意見は、今後の具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
20	20	目標、現状数値がボヤけていて分かり難い。衣服、贈答品等座間市内には気に入った店は無く、結局近隣の市に出向いて買わなければならない。座間に金が落ちる様にして行かなければ明るい未来など作れないのでは。	計画策定時の目標設定や、施策7「産業振興」に関する具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。

21	21	今後は、一人暮らしの高齢者だけではなく、未婚、離別、死別などさまざまな理由で一人で暮らす中高年の方も増えていくと思います。 仕事をしている間は人とのつながりがあっても、退職などをきっかけに人と会う機会が急に少なくなる方もいるのではないのでしょうか。 何か困った時に相談できる場所を作ることも大切ですが、孤立してから支援するだけではなく、普段から地域の人と自然につながる機会を増やすことも大切だと思います。 例えば、趣味、運動、学習、食事、ボランティアなど、単に「交流するため」に集まるのではなく、それぞれの興味や目的を通して自然に人となつながれる場所や活動が増えると、参加しやすいと思います。 高齢者だけに限らず、一人暮らしの方や地域とのつながりが少ない方が孤立しないための取り組みを、今後さらに充実させてほしいです。	いただいた御意見は、施策16「地域福祉」及び施策17「高齢者の支援」に関する具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
22	21	高齢になると、介護が必要というほどではなくても、スーパーまで歩くことや、購入した物を持って帰ることが難しくなる人もいます。 調べてみると、座間市には要支援の方などを対象として、シルバー人材センターの方が買い物や掃除、調理などを手伝う「訪問型サービスA」があることを知りました。このような制度はとても良いと思います。 一方で、このような制度を必要としている人に十分知られているのか、また、制度の対象にはならなくても実際には買い物などに困っている人がいないか、市でも確認していただければと思います。 今ある制度をもっと知ってもらうことに加えて、必要に応じて対象や支援内容を広げることも検討してほしいです。 また、買い物代行だけではなく、商品の宅配、移動販売、スーパーなどへの送迎、地域の商店や民間事業者との協力など、いろいろな方法があると思います。 移動支援と買い物支援を別々に考えるだけでなく、車を運転できなくなっても日常生活が続けられるための支援として考えていただければと思います。	いただいた御意見は、施策17「高齢者の支援」に関する具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
23	21	高齢になると、突然介護が必要になるのではなく、足腰が弱る、外出が減る、今までできていたことが難しくなるなど、少しずつ生活上の困りごとが増えていくと思います。 本人や家族にとっては、「この程度で介護認定を受けてよいのか」「まだ介護までは必要ないが、どこに相談したらよいのか」と迷う時期があります。 地域包括支援センターはそうした時に頼れる大切な場所ですが、今後さらに高齢化が進む中、現在のセンター数や人員で十分対応できるのか気になります。 市として、高齢者人口、相談件数、担当区域、職員の負担などを確認していただき、必要であればセンターの増設、分室、人員の増強なども検討してほしいです。 また、介護認定を迷っている本人や家族を対象とした相談会や、介護になる前から利用できる制度を知るための講習会・情報発信なども、地域で身近に行っていたけると助かります。	いただいた御意見は、施策17「高齢者の支援」に関する具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
24	21	高齢者や車を運転できない人にとって、コミュニティバスは通院や買い物など、生活を続けるための大切な交通手段だと思います。 私の家族も病院への通院にコミュニティバスを利用していますが、本数が少ないため時間の選択肢が限られています。また、最近は近所の道路工事などの影響で30分ほど遅れることもあり、予約した診察やリハビリの時間に遅れてしまうことがあります。 道路事情による遅れは仕方がない部分もあると思いますが、今後車を運転できない高齢者が増えていけば、同じように困る人も増えるのではないのでしょうか。 現在の利用者数だけでなく、病院やスーパーなど生活に必要な場所へのアクセスや利用したい時間帯、道路事情なども考慮して、コミュニティバスの増便や路線の見直しを検討してほしいです。	いただいた御意見は、施策21「都市計画」に関する具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
25	21	コミュニティバスの充実とあわせて、バス以外の移動手段についても検討してほしいです。 高齢になると、バスが走っていても、自宅からバス停まで歩くこと自体が難しくなる人もいます。そのため、デマンド交通、乗合タクシー、タクシー料金への補助、公共ライドシェア、通院や買い物に利用できる予約型の送迎など、いろいろな方法を組み合わせるとはどうでしょうか。 NPOや福祉団体、民間事業者なども協力し、市がこうした移動手段を支援する仕組みがあれば、自家用車を運転できなくなっても通院や買い物を続けやすくなると思います。 また、他の自治体では高齢者などの公共交通利用を支援する制度もあります。座間市でも市の規模や交通事情に合った交通費の支援などを検討してほしいです。 車を運転できるかどうかによって、通院や買い物、外出の機会に大きな差が生まれないようなまちになってほしいと思います。	いただいた御意見は、施策21「都市計画」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
26	21	高齢化が進む一方で、定年後も元気で、まだ働きたい、社会とのつながりを持ち続けたいという方も多いと思います。 シルバー人材センターなどを通して、仕事をするだけでなく、人とながつたり、地域の役に立ったりできる機会をさらに増やしてほしいです。 例えば、安全面や制度をきちんと整えた上で、元気な高齢者が、買い物や移動などに困っている高齢者を手助けするような仕組みも考えられると思います。 支援を必要とする高齢者が増える一方で、元気な高齢者には地域を支える側として活躍してもらうことで、支援する側にとっても仕事や生きがい、人とのつながりにつながるのではないのでしょうか。 シルバー人材センターなどを、仕事の紹介だけでなく、社会参加や地域の担い手づくりにもつなげる場として、さらに活用していただきたいです。	いただいた御意見は、施策17「高齢者の支援」に関する具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。

27	21	今回の中間見直しでは、子育て、学校、地域との協力、デジタル化などについて新しい目標や指標が考えられています。どれもこれからの座間市にとって大切なことだと思います。 一方で、今後さらに高齢化が進み、一人暮らしの世帯も増えていくことを考えると、介護が必要になる前からの支援、通院や買い物などの移動支援、孤立を防ぐ取り組み、高齢者の就労や社会参加などについて、今後の座間市の重要な課題として取り上げてほしいです。 例えば、地域包括支援センターなどの相談体制が十分か、公共交通を利用しやすいと感じている人がどのくらいいるか、通院や買い物に困っている人がいないか、地域活動や社会参加の機会が十分にあるかなどを、市でも継続して確認していただければと思います。 これらは別々の問題ではなく、「相談できる → 外出できる → 通院や買い物ができる → 人とつながる → 仕事や地域活動に参加できる」というようにつながっていると思います。 高齢者だけでなく、障害のある方、車を運転できない方、一人暮らしの方なども含め、生活環境が変わっても住み慣れた座間市で安心して暮らし続けられるようなまちづくりを、今回の中間見直しにも反映していただきたいです。	現在の基本構想の政策5「共に認め合い、支え合うまちづくり」は、いただいた御意見の趣旨も含め、推進しているところです。 また、今回の中間見直しでは政策の方向性に大きな変化はないと考えていますが、今後の具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
28	21	コミュニティバスについて、具体的に要望があります。 座間市には座間総合病院という大きな総合病院ができましたが、座間駅から病院へ直接行けるコミュニティバスがなく、相武台前駅側からのアクセスが中心になっています。 市内の総合病院は、特に高齢者や車を運転できない方にとって重要な施設だと思います。せっかく市内に大きな病院があっても、住んでいる地域によって公共交通で通院しにくいのは残念に感じます。 特に座間駅周辺や市の西側に住む高齢者などが、乗り換えをできるだけ少なくして座間総合病院へ通院できるよう、座間駅と座間総合病院を結ぶコミュニティバスの路線や、既存路線の延伸・接続の改善などを検討していただきたいです。 病院だけでなく、駅、買い物施設、市役所など、市民生活に必要な場所を公共交通でつなぐという視点で、今後の路線を考えていただければと思います。	いただいた御意見は、施策21「都市計画」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
29	22	現在2歳児と0歳児の子育てをしている母です。近い将来復職し共働き家庭になります。 保育園に入れるかどうか不安もありますが、それ以上に小学生になった時の放課後の過ごし方に不安を感じています。 夜まで子供たち2人で何をして過ごさせるのか？どこで過ごさせるのか？それを確認する方法はどうするのか？安全をどう守るのか？子供たちの心の負担をどう減らすのか？ 考えれば考える程、家庭内の努力だけでは解決するのが困難だと感じています。今回のざま未来プラン見直し案に、子供の放課後教室関連がプラスされた事にとても期待しています。 預かり保育のような場ではなく、習い事や塾のような子供にとって学びの機会になるような場を作って頂きたいです。夜の時間帯まで対応して頂き、食事も出来るとありがたいです。 そうなると、そこで働く職員さんは遅くまでの勤務になり食事のコストもかかると思います。 お金をかけず利用したいという家庭もあると思いますが、私はある程度お金を支払って子供の安全と有意義な時間を過ごさせたいと考えています。 それぞれの家庭に合った、ある程度選択出来る環境を作って頂きたいです。 例えば、「放課後に過ごす場の提供のみ」であまりお金がかからないプランと「学習を支援する」少しお金がかかるプラン、「スポーツや音楽などの習い事」型式である程度お金がかかるプランなど、ひとつに絞らず複数の中から過ごし方を選べるようにして頂きたいです。 子供たちの安全と成長に繋がり、そして親が安心して子育てと仕事が出来る環境づくりを是非よろしく願いたします。	いただいた御意見は、施策2「子どもたちの健全育成」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
30	22	バスの路線見直しを、ざま未来プランにぜひ組み込んで頂きたいと思います。 南栗原6丁目に住んでいるのですが、周辺で利用できるバス停がふたば住宅しかなく、さがみ野駅との行き帰りがとても不便です。 子供が1人の時はベビーカーを畳んで利用していましたが、2人目が産まれて、「1人を抱っこし、畳んだベビーカーを持ち上げ、もう1人の手を繋ぎながら乗車する」という事がとても困難になりました。また、時折満員で乗れない事も多く、幼児を2人連れて乗車するとなると隣同士で2席使用したいのではほぼ乗車が不可能になってしまいました。	コミュニティバスについては、施策21「都市計画」で進めているところです。 いただいた御意見は、今後の具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
31	23	座間市は今後どのくらいの外国人を何人受け入れる予定なのか、そのコストはどのくらいを予算計上しているのか、失職したら、その人達をどうするのか、明確にしてほしい。日本語教室などコスト面で外国人の支援と地域住民の公平性は、保てるのか、 室外機盗、水道メーター盗など、まだ座間市では顕在化していないが、インフラ破壊など規則や罰則規定を決めて置くべきと考える。 電気代、水道料金の減免は評価するが、貴重な地下水資源を外国に売却等、しないでもらいたい。	いただいた御意見は、施策30「多様性社会への対応」に関する御提言として受け止めさせていただきます。
32	24	座間市民の人口減少の原因については高齢者の死亡によるものなのか、転出者が多いのか。原因によるが、後者の場合であつたら、改善が必要である。 座間市に住む事によって得られるメリット、周辺の市よりも良い面をメディアなどで積極的にアピールする事。デメリットがあれば、改善を行う。 駅周辺の整備を進める。 空き家を解体し、若い世代が住めるよう積極的に補助金を投入する。 働き世代への積極的なサポートが必要。	本市は、転入が転出を上回る社会増の状況にあります。近年の出生数の減少、死亡数の増加による自然減が社会増を上回るようになったことから人口減少が進んでおります。 また、いただいた御意見は、ざま未来プランの各施策に関する具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
33	25	施策6市民協働に関する意見です。現在のコミュニティ施設が偏しているとの危惧があります。施設の役割は1.人的交流の場の提供2.災害時の避難場所と復旧活動拠点の提供3.学童保育の場の提供にあります。自然災害の激甚化により2の機能が必須になっています。市からの避難要請が度々発出されるようになりました。 高齢者の多い地区、ハザードが予見されている地区、住宅需要が増している地区などでは施設の拡充が求められています。座間市全体で評価する指標でなく、座間、新田宿、緑ヶ丘、栗原、相模が丘など地区別に評価する必要があります。既存施設の利用者数の拡大指標でなく、生活者が生き延びる確率を高める指標、適正な配置かを評価する指標です。徒歩30分以内にコミュニティー施設に避難できる世帯数の割合(地区別)などです。	いただいた御意見は、施策6「市民協働」や施策9「防災・減災」に関する御提言として受け止めさせていただきます。

34	26	今回の中間見直しに当たり、社会的孤立や生きづらさを抱える若者への支援について、より明確に位置付けていただきたいと考えます。 若者の中には、経済的困窮、家庭環境、人間関係、就労など複数の課題を抱えながら、自らSOSを発することができず、既存の相談窓口や支援制度につながりにくい方もいます。特に、制度や年齢、所管の違いなどによって支援の狭間に置かれる若者に対しては、「相談を待つ」だけではなく、そこで、今回の中間見直しに「社会的孤立や生きづらさなど、複合的な課題を抱えながら支援につながりにくい若者に対し、若者に届く情報発信やアウトリーチ、継続的な伴走支援に取り組むとともに、庁内関係部署及び民間支援団体等との連携を進め、必要な支援につながる体制の充実を図る」といった趣旨を盛り込むことを提案します。 こども、福祉、教育、就労など、それぞれの制度の充実とともに、その狭間にいる若者を誰が受け止め、どのように次の支援につなぐのかという視点を大切にし、誰一人取り残さない座間市の実現につなげていただきたいと考えます。	現在の基本構想の政策1「共に学び、健やかに育つまちづくり」及び政策5「共に認め合い、支え合うまちづくり」は、いただいた御意見の趣旨も含め、推進しているところ です。 また、今回の中間見直しでは政策の方向性に大きな変化はないと考えていますが、今後の具体的な取組の検討において参考にさせていただきます。
----	----	---	---